

側溝清掃汚泥の簡易処理システムの開発

道路側溝清掃によって発生する土砂の処分は多量の水を含んでいるため、現状では管理型処分場に直接持ち込み処理しなければなりません。しかし、処分場は限定されているので非効率な遠距離輸送になっています。そこで、作業現場で簡易に脱水処理することを目的とした車載式の側溝清掃汚泥の簡易処理システムが開発されました。

道路維持作業の効率化を図り、環境に優しいシステム

道路側溝には土砂や塵あいが堆積して、時間が経つにつれ沈殿物が固着し排水機能が低下します。そのため春先きの融雪期の後などに清掃を行い、機能の回復を図っています。側溝清掃により発生する土砂は作業の過程で高含水になり、産業廃棄物として取り扱われるので、産業廃棄物処分場に直接持ち込んで処理しているのが現状です。この方法では処分場までの遠距離

輸送が強いられるなど、非効率であることから、土砂を清掃作業現場において簡易に脱水処理する方法が求められていました。こうした背景をうけて北海道開発局では車載式の「側溝清掃汚泥の簡易処理システム」を開発しました。土砂の減量化と、輸送時間の短縮により道路維持作業の効率化に寄与するものとして期待されています。なお、詳しくは北海道開発局建設機械工作所（TEL 011-851-4111）にお尋ね下さい。

